

## **管理会計論 基礎マスター 実力テスト② 補足レジュメ**

### **問題2**

予算編成

#### **営業活動関連科目**

20X2年度の各月の商品の「個数」を整理すると、次のようになる。

| 上半期     |   |       |          |
|---------|---|-------|----------|
| 20X2年4月 |   |       |          |
| 月初      | あ | 1,350 | 販売 う 800 |
| 仕入      | い | 250   |          |
|         |   |       | 月末 え 800 |

| 20X2年5月 |   |     |          |
|---------|---|-----|----------|
| 月初      | え | 800 | 販売 か 800 |
| 仕入      | お | 800 |          |
|         |   |     | 月末 き 800 |

| 20X2年6月 |   |     |          |
|---------|---|-----|----------|
| 月初      | き | 800 | 販売 け 800 |
| 仕入      | く | 800 |          |
|         |   |     | 月末 こ 800 |

| 20X2年7月 |   |     |          |
|---------|---|-----|----------|
| 月初      | こ | 800 | 販売 し 800 |
| 仕入      | さ | 800 |          |
|         |   |     | 月末 す 800 |

| 20X2年8月 |   |     |          |
|---------|---|-----|----------|
| 月初      | す | 800 | 販売 そ 800 |
| 仕入      | せ | 800 |          |
|         |   |     | 月末 た 800 |

| 20X2年9月 |   |     |          |
|---------|---|-----|----------|
| 月初      | た | 800 | 販売 つ 800 |
| 仕入      | ち | 800 |          |
|         |   |     | 月末 て 800 |

| 下半期      |   |       |            |
|----------|---|-------|------------|
| 20X2年10月 |   |       |            |
| 月初       | て | 800   | 販売 な 1,000 |
| 仕入       | と | 1,700 |            |
|          |   |       | 月末 に 1,500 |

| 20X2年11月 |   |       |            |
|----------|---|-------|------------|
| 月初       | に | 1,500 | 販売 ね 1,000 |
| 仕入       | ぬ | 1,000 |            |
|          |   |       | 月末 の 1,500 |

| 20X2年12月 |   |       |            |
|----------|---|-------|------------|
| 月初       | の | 1,500 | 販売 ひ 1,000 |
| 仕入       | は | 1,000 |            |
|          |   |       | 月末 ふ 1,500 |

| 20X3年1月 |   |       |            |
|---------|---|-------|------------|
| 月初      | ふ | 1,500 | 販売 ほ 1,000 |
| 仕入      | へ | 1,000 |            |
|         |   |       | 月末 ま 1,500 |

| 20X3年2月 |   |       |            |
|---------|---|-------|------------|
| 月初      | ま | 1,500 | 販売 む 1,000 |
| 仕入      | み | 1,000 |            |
|         |   |       | 月末 め 1,500 |

| 20X3年3月 |   |       |            |
|---------|---|-------|------------|
| 月初      | め | 1,500 | 販売 や 1,000 |
| 仕入      | も | 1,000 |            |
|         |   |       | 月末 ゆ 1,500 |

#### **20X3年3月31日 B/S 売掛金 ⇒ ④**

20X3年3月単月の売上高 ⇒ 1,000個(や) × 20千円 = 20,000千円

#### **20X3年3月31日 B/S 商品 ⇒ ⑤**

1,500個(ゆ) × 8千円 = 12,000千円

#### **20X3年3月31日 B/S 買掛金**

20X3年3月単月の仕入高 ⇒ 1,000個(も) × 8千円 = 8,000千円

#### **20X2年度 現金収支予算 上半期 売掛金回収**

20X2年4月回収額(＝期首売掛金) + 20X2年5月～9月回収額(＝20X2年4月～8月売上高)  
 = 18,000千円 + {800個(う) + 800個(か) + 800個(け) + 800個(し) + 800個(そ)} × 20千円 = 98,000千円

#### **20X2年度 現金収支予算 上半期 買掛金支払 ⇒ ⑧**

20X2年4月支払額(＝期首買掛金) + 20X2年5月～9月支払額(＝20X2年4月～8月仕入高)  
 = 7,200千円 + {250個(い) + 800個(お) + 800個(く) + 800個(さ) + 800個(せ)} × 8千円 = 34,800千円

#### **法人税等関連科目**

| 未払法人税等 |   |        |             |
|--------|---|--------|-------------|
| 納付     | よ | 16,000 | 期首 る 16,000 |
| 中間納付   | ら | 12,566 | 期末計上        |
| 期末     | り | 12,566 | れ 25,132    |

#### **20X3年3月31日 B/S 未払法人税等 ⇒ ⑦**

12,566千円(り)

#### **20X2年度 P/L 法人税等**

25,132千円(れ)

#### **20X2年度 現金収支予算 上半期 法人税等支払**

16,000千円(よ)

#### **20X2年度 現金収支予算 下半期 法人税等支払**

12,566千円(ら)

**(1) 基礎マスター（後半）の終わりに**

約半年に及ぶ基礎マスター講義と、実力テスト②、本当にお疲れさまでした。  
基礎マスター（後半）すなわち、（管理会計分野）はいかがだったでしょうか。  
管理会計論を得意科目だと感じている人は、ぜひその調子で学習を続けてください。  
復習が満足にできず、ミニテストや実力テストの結果が振るわなかった人も、気落ちしているヒマはありません。  
敬遠することなく、ぜひ、真正面から管理会計論と向き合ってみてください。  
来年8月の論文式試験合格のためには、短答式試験を今年12月で突破することが一番の近道です。  
理論科目の学習も本格的に始っており、計算科目・理論科目ともに上級講義・アクセスが走り始めます。  
今後は、理論科目の上級講義にキャッチアップしていくことに多くの時間と労力がかかりますので、  
今が、計算科目を得意科目にするためのラストチャンスであるともいえます。

**(2) 実力テストが問うていたこと**

答練でも本試験でも、好成績を収めるには、以下の2要素が両方とも満足に達成できている必要があります。

| 必要な要素                                                                | 今回で言えば・・・                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>①基礎力（事前準備・インプット）</b><br>問われている内容について、十分な知識がある。                    | ・基礎マスターまでの学習内容をしっかり復習できている。<br>(曖昧、うろ覚えの内容は、何の役にも立たない。)                                          |
| <b>②応用力（現場対応・アウトプット）</b><br>初見の問題に対して、限られた時間で得点を最大化するための対応を、その場でできる。 | ・まず問題全体を見渡し、解ける問題から先に解く。<br>・大問のなかのすべてが解答できなくても、一部でも解答できる箇所を探す。<br>⇒ <u>その「見極め力」の差が、点数の差になる。</u> |

・手ごたえが良かった人は、何がうまくいったのか、悪かった人は、何に問題があったのかを考え、今後の学習の糧に！

**(3) 学習の基本指針**

- ①テキストの**キーワード**や**ラインマーカー**を引いた箇所については、自ら、内容を説得的に説明できるようにする。  
⇒読んで「なるほど」「そうそう」と感じるだけではダメで、他人に説明できるレベルまで。
- ②**例題集とトレーニングのすべての問題**を、自信を持って解けるまで復習する。（解説を読むだけではなくテキストに戻）
- ③本日の**実力テストのすべての問題**を、自信を持って解けるまで復習する。（繰り返し解く（素振りと同じ）！）
- ④短答理論問題集についても、学習済みの範囲については問題を解き、必要に応じて「原価計算基準」本文にあたる。

**(4) 本試験問題を見ることの重要性**

基礎マスターの講義を消化し終えたと、本試験で土台となる管理会計論の知識は、かなり身につけてきています。  
そこで、次の5月の短答式試験の問題を解いてみましょう。

その目的は2つです。

**①自信がつく！**

学習開始時は、問題文の意味さえ、さっぱり分からなかったわけですが、今はどうでしょうか？  
意味がだいたい分かるだけでなく、正解にまでたどり着ける問題もかなりあります。  
いかに、**基礎が大事**か、痛感すると思います。  
その「感覚」が、きっとの学習のモチベーションになるでしょう。

**②今後の勉強方針のイメージを作る！**

皆さんが最終的に、他の受験生と争わなければならない土俵は、受験予備校の講師が作成した「答練」ではなく、  
学者・実務家の試験委員が作成する「本試験問題」です。  
答練と本試験問題には、問題の質やクセなど、大きな違いがあり、それを早い段階で体感しておくことで、  
今後の勉強の方針のイメージを作ることができます。

## (5) 基礎力の重要性

「入門と基礎マスターが一番大事。」、「上級から本気出す、は通用しない。」と何度も言ってきました。  
では、なぜ基礎が大事なのか？ 理由は2つあります。

### 1つ目の理由は、「応用」というのは、「基礎」を土台にした思考でしかできないからです。

基礎がグラグラで、応用の知識が身につくはずもなく、応用問題に対応できるはずがありません。  
九九を覚えていない人が、連立方程式が解けるか？ 英単語を覚えていない人が、英文の長文読解ができるか？  
キャッチボールもともにできないピッチャーが、試合で投げられるか？  
基礎マスターまでの内容は、九九であり、英単語の暗記であり、キャッチボールなのです。

### 2つ目の理由は、国家試験には「配点調整」があるからです。

つまり、合格最低点を、外から見てそれなりの（高い）水準にしないとイケないので、  
事後的に、出来が良かった問題の配点を上げ、悪かった問題の配点を下げるわけです。

|     |    | 配点①        |      | 配点②        |      | 配点③        |
|-----|----|------------|------|------------|------|------------|
| 第1問 | 易問 | 25         |      | 30         |      | 40         |
| 第2問 | 易問 | 25         | 配点調整 | 30         | 配点調整 | 40         |
| 第3問 | 中間 | 25         |      | 30         |      | 20         |
| 第4問 | 難問 | 25         |      | 10         |      | 0          |
|     |    | <u>100</u> |      | <u>100</u> |      | <u>100</u> |

上記のような配点調整が行われたとき、基本問題を間違えていたり、白紙であつたりした場合、  
他の一般的な受験生の得点と、予想外の大差がついてしまいます。

### 基礎力のある受験生A（易問はそこそこ解け、難問の出来が悪かった）

|     |    | 得点①       |      | 得点②       |      | 得点③       |
|-----|----|-----------|------|-----------|------|-----------|
| 第1問 | 易問 | 15        |      | 18        |      | 24        |
| 第2問 | 易問 | 15        | 配点調整 | 18        | 配点調整 | 24        |
| 第3問 | 中間 | 10        |      | 12        |      | 8         |
| 第4問 | 難問 | 5         |      | 2         |      | 0         |
|     |    | <u>45</u> |      | <u>50</u> |      | <u>56</u> |

### 基礎力のない受験生B（易問の出来が悪かったが、難問はマグレで解けた）

|     |    | 得点①       |      | 得点②        |      | 得点③         |
|-----|----|-----------|------|------------|------|-------------|
| 第1問 | 易問 | 10        |      | 12         |      | 16          |
| 第2問 | 易問 | 10        | 配点調整 | 12         | 配点調整 | 16          |
| 第3問 | 中間 | 10        |      | 12         |      | 8           |
| 第4問 | 難問 | 15        |      | 6          |      | 0           |
|     |    | <u>45</u> |      | <u>42</u>  |      | <u>40</u>   |
|     |    | <b>同点</b> |      | <b>8点差</b> |      | <b>16点差</b> |

## (6) 上級期の取り組み方

上級講義が始まるまでに、入門と基礎マスターの内容を、十分に理解しておくことが重要です。  
理解が不十分のまま講義を受けても、チンプンカンプンになります。

また、そろそろ、「教材の回転」を意識していく必要があります。  
重要度、得意不得意の度合いで濃淡をつけ、本試験までに、何度も何度も、教材を繰り返し学習することです。

### そして、何より、心を強く持ってください。

これまでのミニテストや実力テストは、ほぼ同じ時期に学習を開始した受験生同士の競争でしたが、  
上級期からは、過年度受験生も競争相手に加わります。  
入門上がりの受験生は、彼らとの実力差に、最初は大きなショックを受けることもあると思いますが、  
それは仕方のないことです。  
上級答練やアクセス答練では、これでもかと思うくらい自己否定されたような気になることもあるでしょうが、  
入門上がりの受講生がみんな通る道です。

**2024年8月の本試験で合格レベルに達していればよいわけですので、その目標を見据えて、努力を積み重ねてください。**